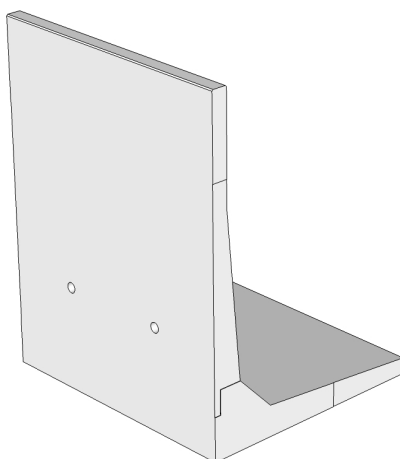




KLウォール

製品CADデータ



タイプ	積載荷重 kN/m ²	設計水平震度 kh	土の内部摩擦角 度	摘要
3型E3タイプ	15	0.25	別表	
	15	0.25	$25^{\circ} \leq \phi < 30^{\circ}$	

- ・国土交通大臣を取得しているプレキャストL型擁壁
- ・中地震(設計水平震度0.20)および大地震(設計水平震度0.25)に対応
- ・製品高さは25cm毎対応(H1000～3000)
- ・別表の設計条件は、宅地造成等規制法施行令 別表二・三を参考



松阪興産株式会社

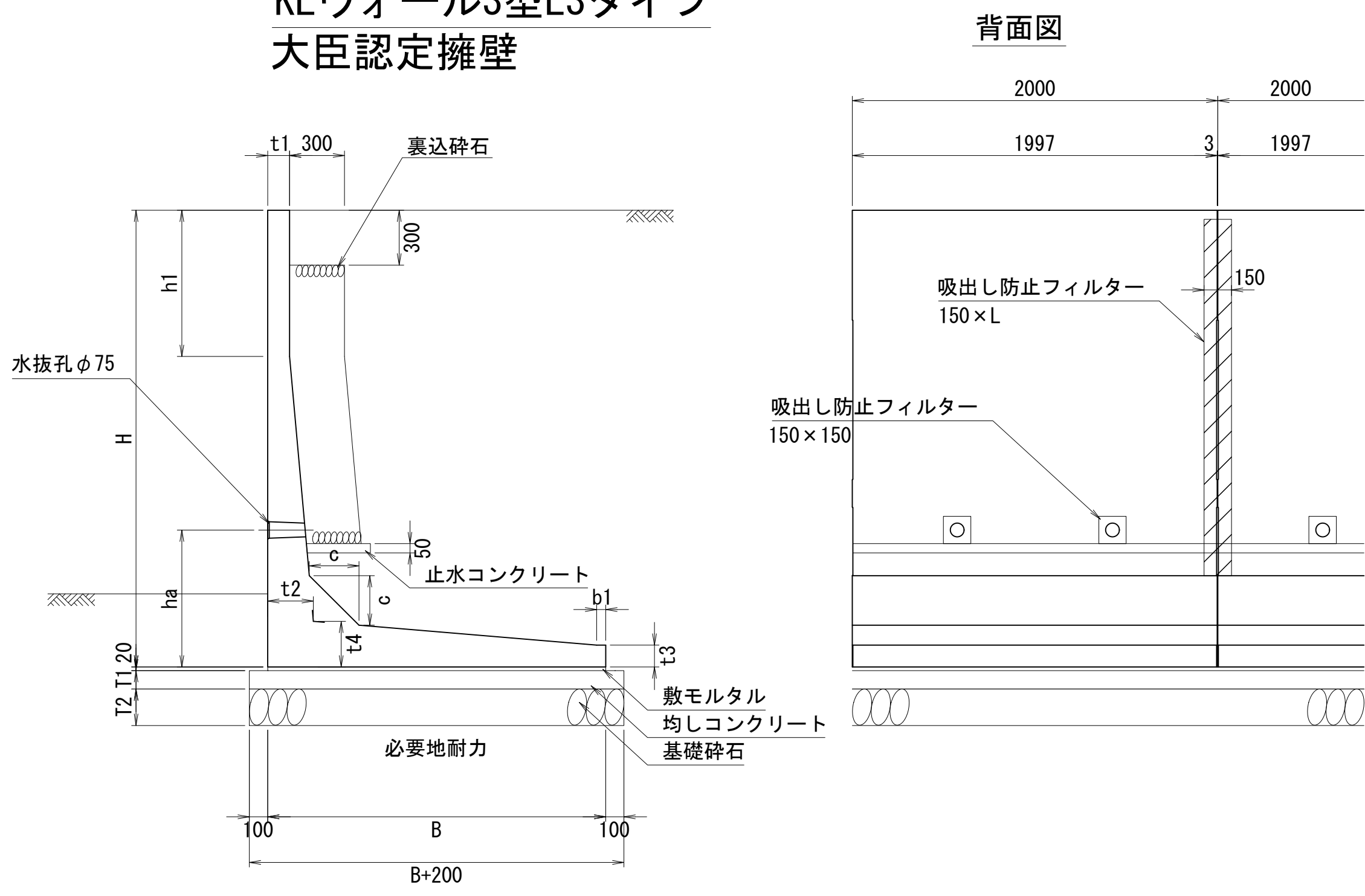
2026.8版



プレキャストL型擁壁構造図

A1 S=1：25
A3 S=1：50

KLウォール3型E3タイプ
大臣認定擁壁



E3タイプ 寸法表

適用	各部寸法 (mm)										寸法 (mm)		参考重量 (kg)	必要地耐力 (kN/m2)
	H	B	t1	t2	t3	t4	c	h1	b1	ha	T1	T2		
	1000	850	120	120	110	110	110	0	0	550	100	200	990	65
	1250	1000	120	120	110	120	110	0	100	750	100	200	1230	75
	1500	1150	120	130	110	130	110	800	100	750	100	200	1490	85
	1750	1300	120	140	110	140	110	800	50	750	100	200	1780	100
	2000	1500	120	165	110	165	150	800	50	750	100	200	2220	105
	2250	1700	120	205	120	205	200	800	50	750	100	200	2880	115
	2500	1850	120	250	120	250	250	800	50	750	100	200	3600	125
	2750	2050	120	330	130	270	200	800	100	750	100	200	4410	130
	3000	2200	120	390	130	310	200	800	100	750	100	200	5310	140

- ・標準部の擁壁長さはL=1997mmとし、L=1000mmまで縮小（短尺）することができる。
- ・据付時の伸びは3mm見込む。
- ・セツバック距離は、たて壁のたわみ量（計算上最大7mm程度）を考慮すること。

設計条件(土質試験により実状を確認しない場合)

上載荷重	Q=15.0kN/m2
背面土の土質	砂利または砂
土の内部摩擦角	30°（φ≧28.8°）
土の単位体積重量	γs=18.0kN/m3
基礎地盤の土質	岩、岩屑、砂利、砂
底面摩擦係数	μ=0.5
コンクリートの単位体積重量	γc=24.0kN/m3
コンクリートの設計基準強度	σck=30N/mm2
使用鉄筋	SD295
設計水平震度（中規模地震時）	0.20
設計水平震度（大規模地震時）	0.25
擁壁前面の根入れ高さ	35cm以上かつ 擁壁高さの15%以上

※宅地造成等規制法施行令 別表第二・三参照

使用材料

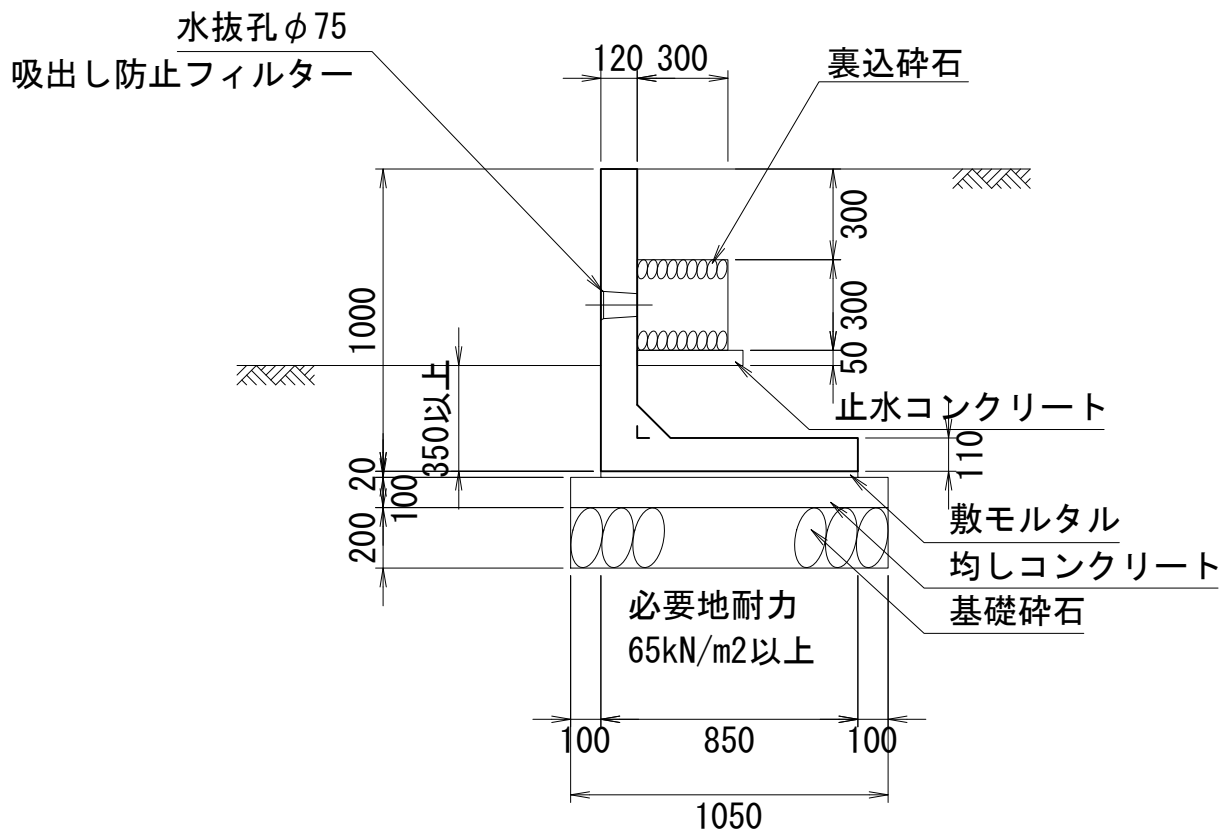
敷モルタル	1：3
均しコンクリート	18N/mm2
基礎碎石	RC40-0
裏込碎石	RC40-0 or C40-0

1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込碎石の厚さ（300程度）がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m2に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

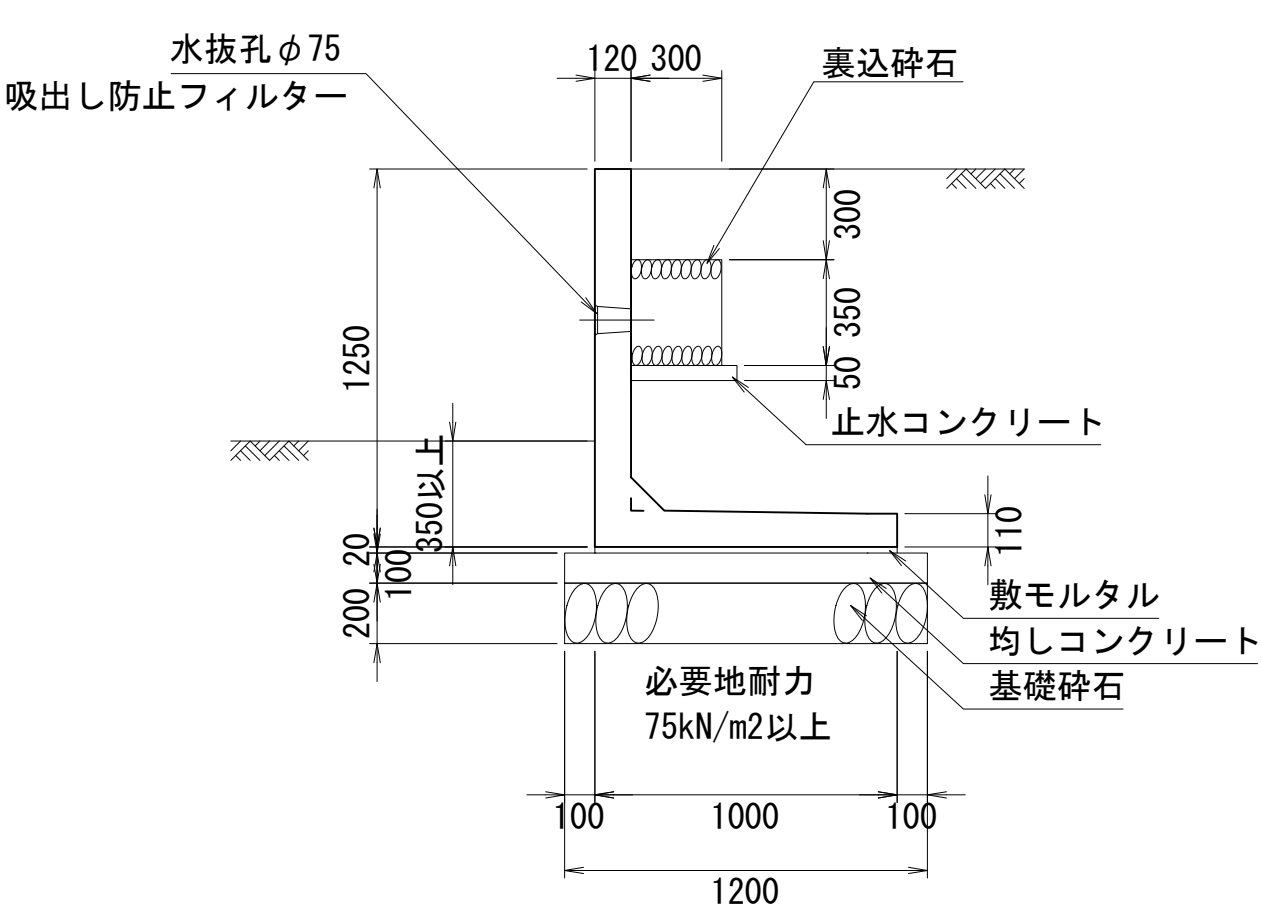
KLウォール3型E3

A1 S=1：25
A3 S=1：50

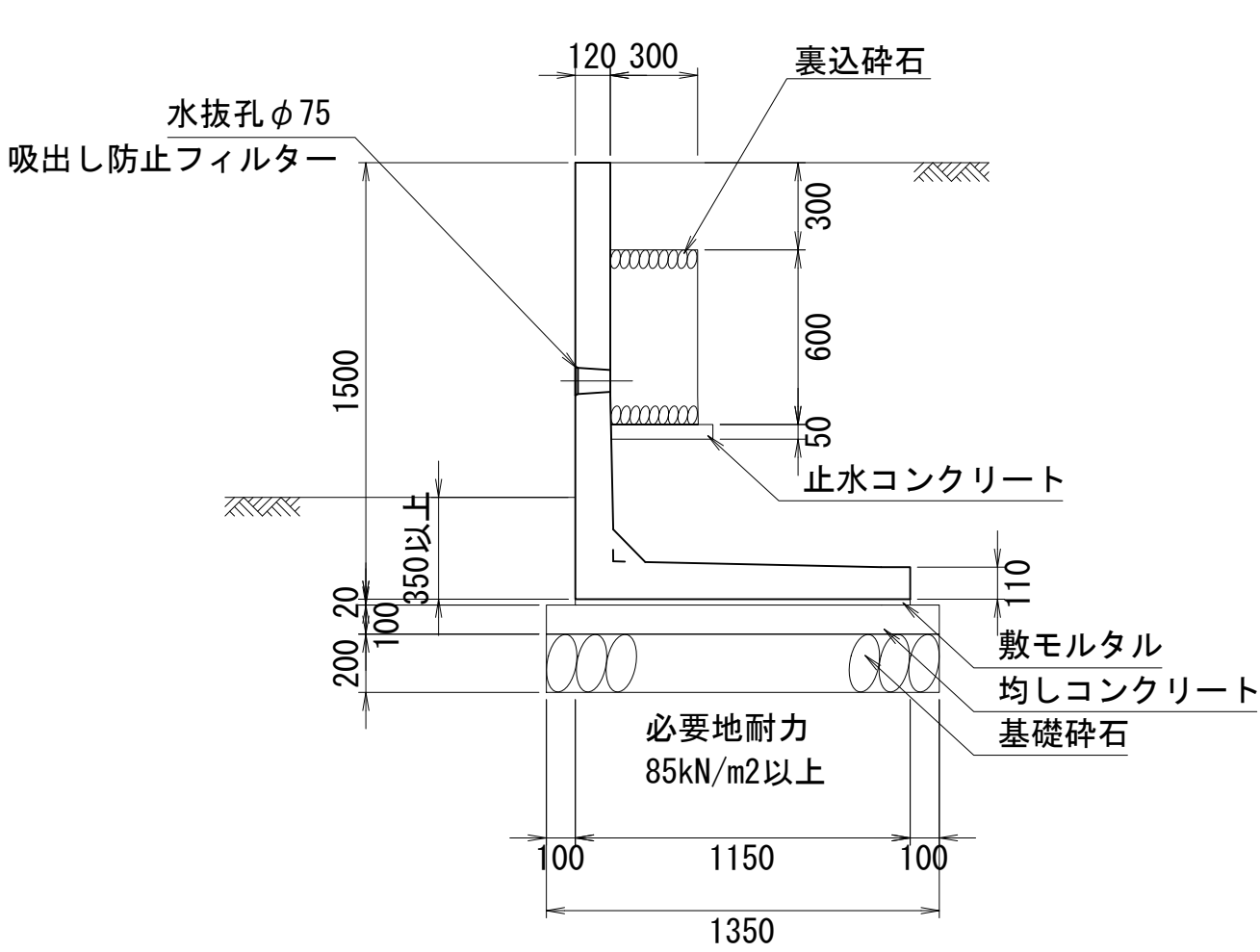
KLウォール3型E3
H=1000



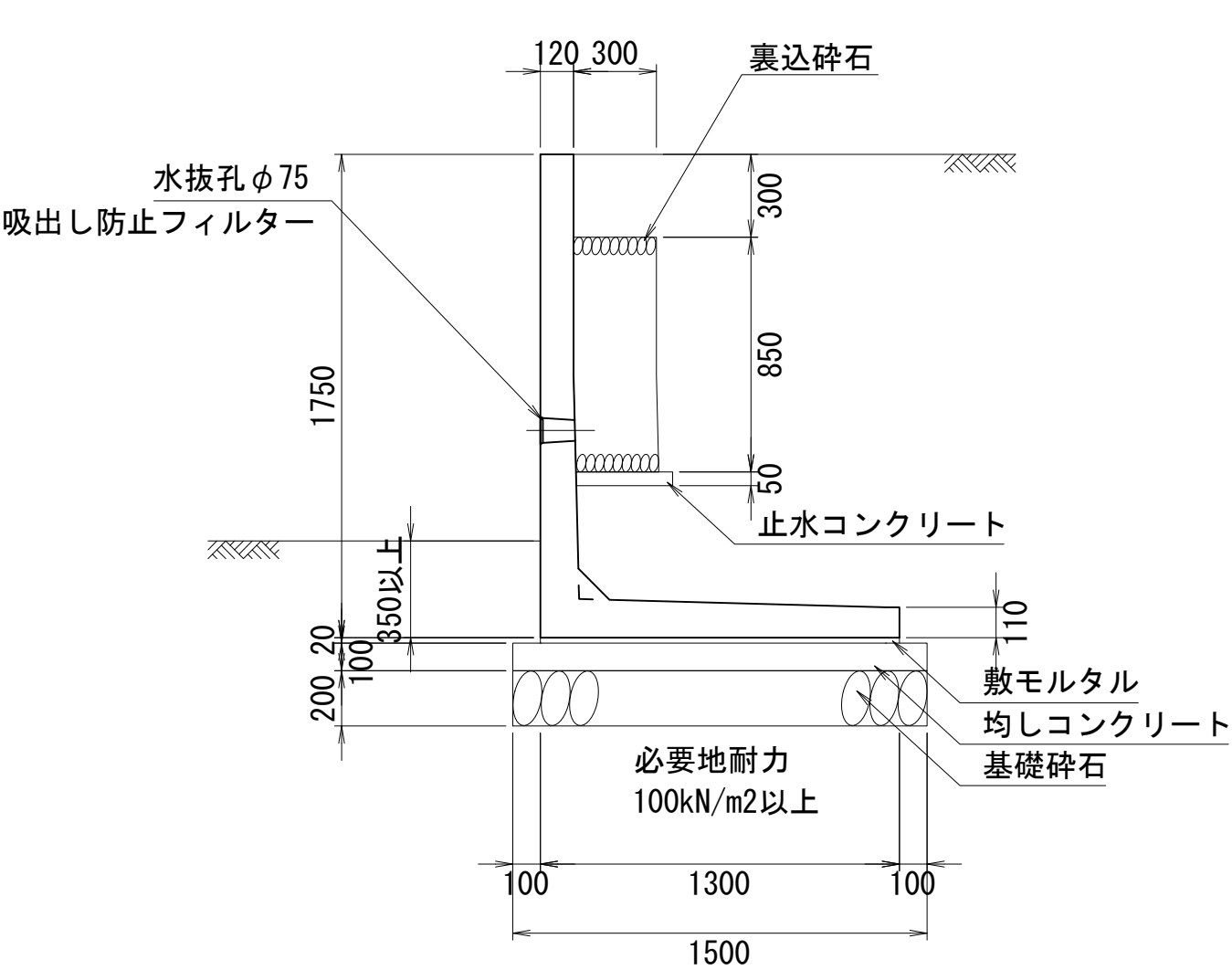
KLウォール3型E3
H=1250



KLウォール3型E3
H=1500



KLウォール3型E3
H=1750



設計条件(土質試験により実状を確認しない場合)

上 載 荷 重	Q=15.0kN/m2
背面土の土質	砂利または砂
土の内部摩擦角	30°（φ≧28.8°）
土の単位体積重量	γs=18.0kN/m3
基礎地盤の土質	岩、岩屑、砂利、砂
底面摩擦係数	μ=0.5
コンクリートの単位体積重量	γc=24.0kN/m3
コンクリートの設計基準強度	σck=30N/mm2
使用鉄筋	SD295
設計水平震度（中規模地震時）	0.20
設計水平震度（大規模地震時）	0.25
擁壁前面の根入れ高さ	35cm以上かつ 擁壁高さの15%以上

※宅地造成等規制法施行令 別表第二・三参照

使用材料

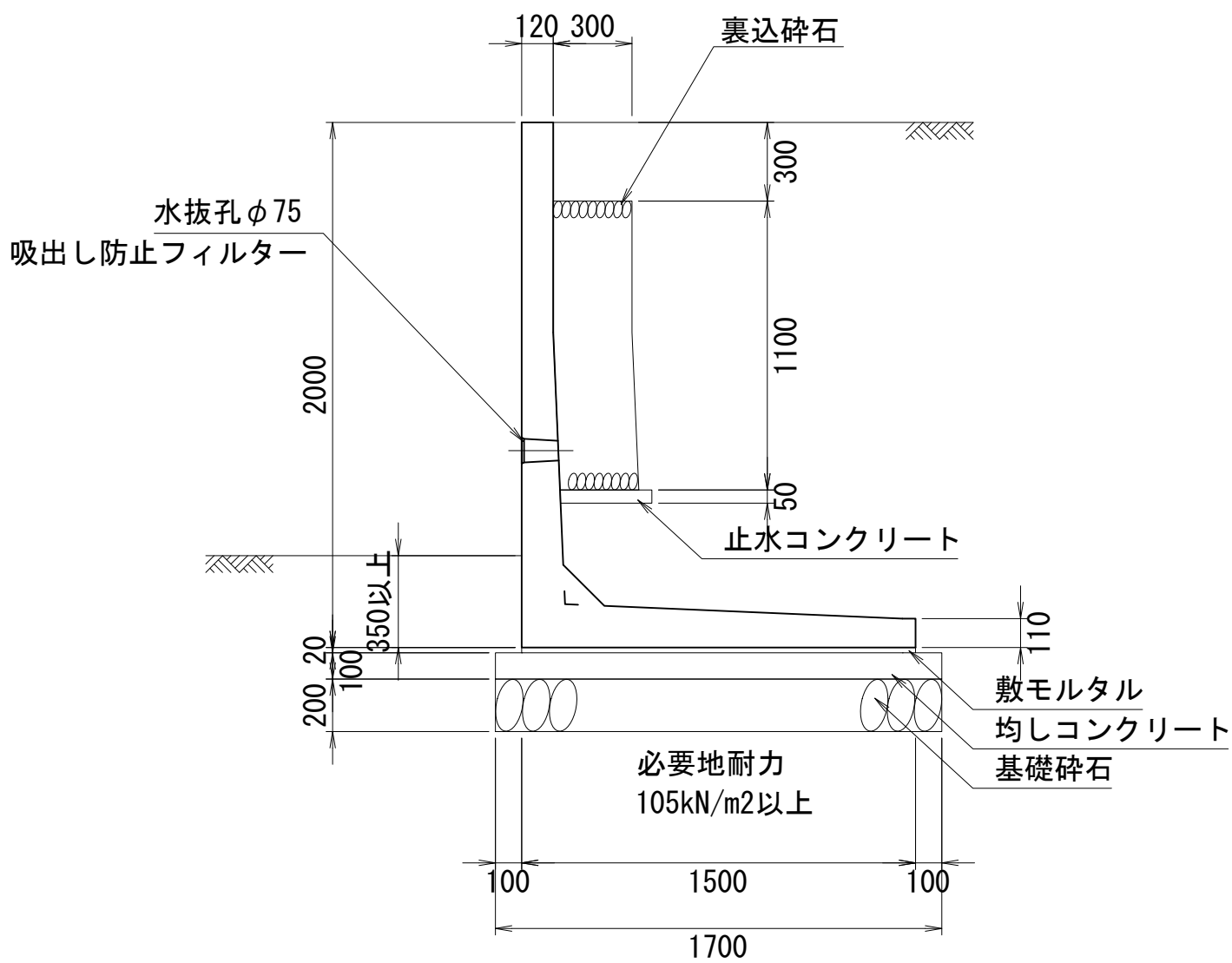
敷モルタル	1：3
均しコンクリート	18N/mm2
基礎碎石	RC40-0
裏込碎石	RC40-0 or C40-0

1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込碎石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m2に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

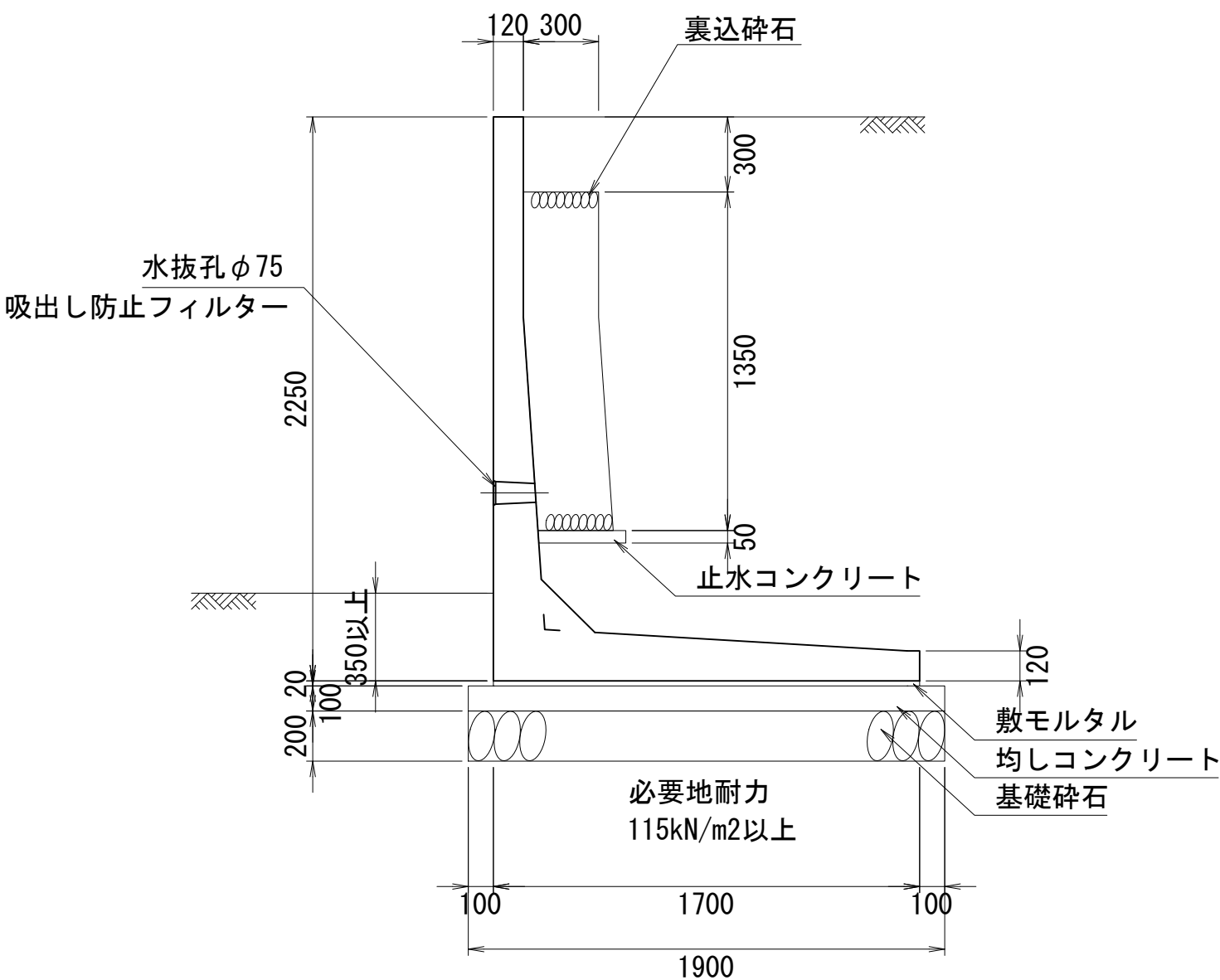
KLウォール3型E3

A1 S=1：25
A3 S=1：50

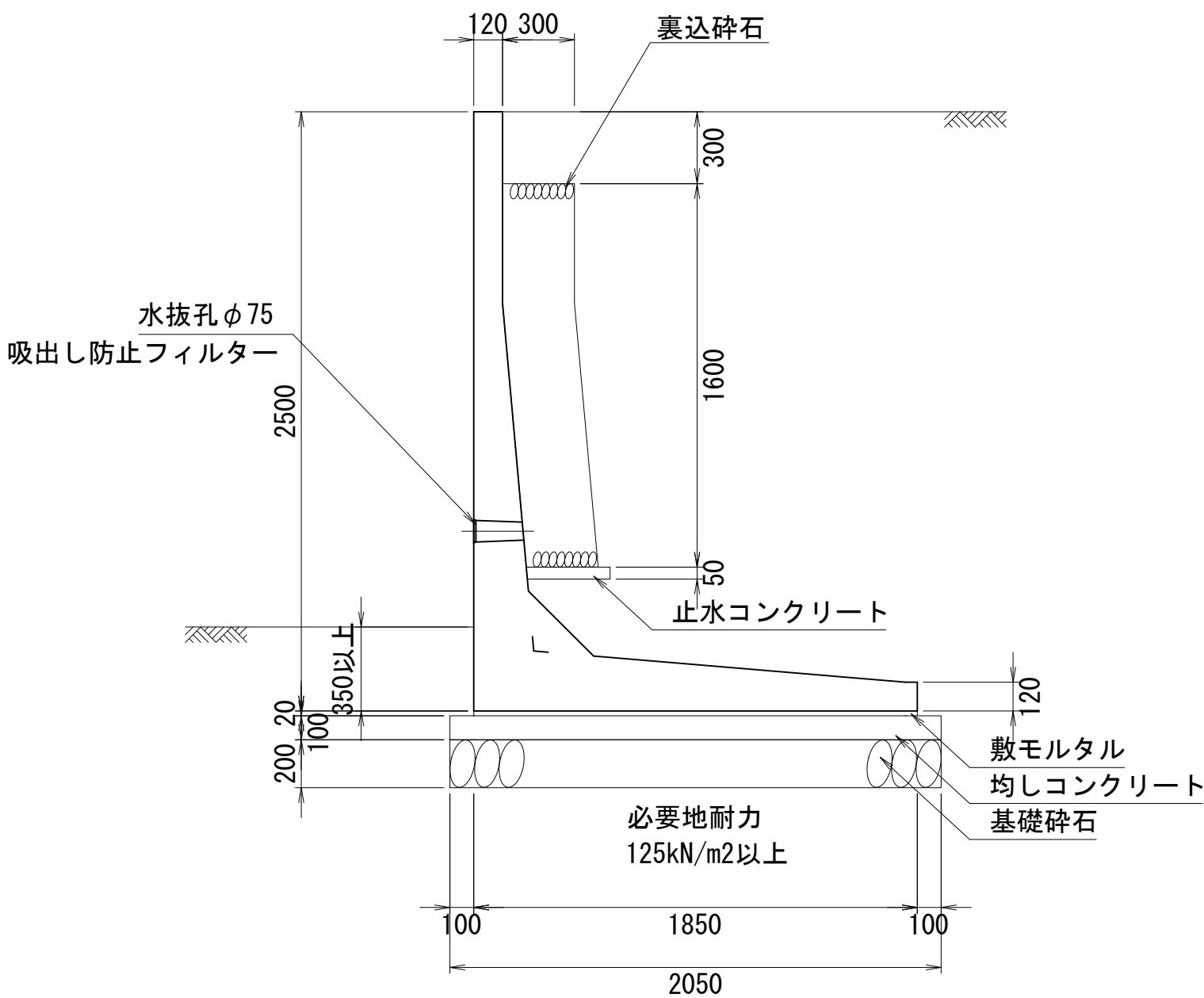
KLウォール3型E3
H=2000



KLウォール3型E3
H=2250



KLウォール3型E3
H=2500



設計条件(土質試験により実状を確認しない場合)

上 載 荷 重	Q=15.0kN/m2
背面土の土質	砂利または砂
土の内部摩擦角	30° (φ ≧ 28.8°)
土の単位体積重量	γ s=18.0kN/m3
基礎地盤の土質	岩、岩屑、砂利、砂
底面摩擦係数	μ =0.5
コンクリートの単位体積重量	γ c=24.0kN/m3
コンクリートの設計基準強度	σ ck=30N/mm2
使用鉄筋	SD295
設計水平震度 (中規模地震時)	0.20
設計水平震度 (大規模地震時)	0.25
擁壁前面の根入れ高さ	35cm以上かつ 擁壁高さの15%以上

※宅地造成等規制法施行令 別表第二・三参照

使用材料

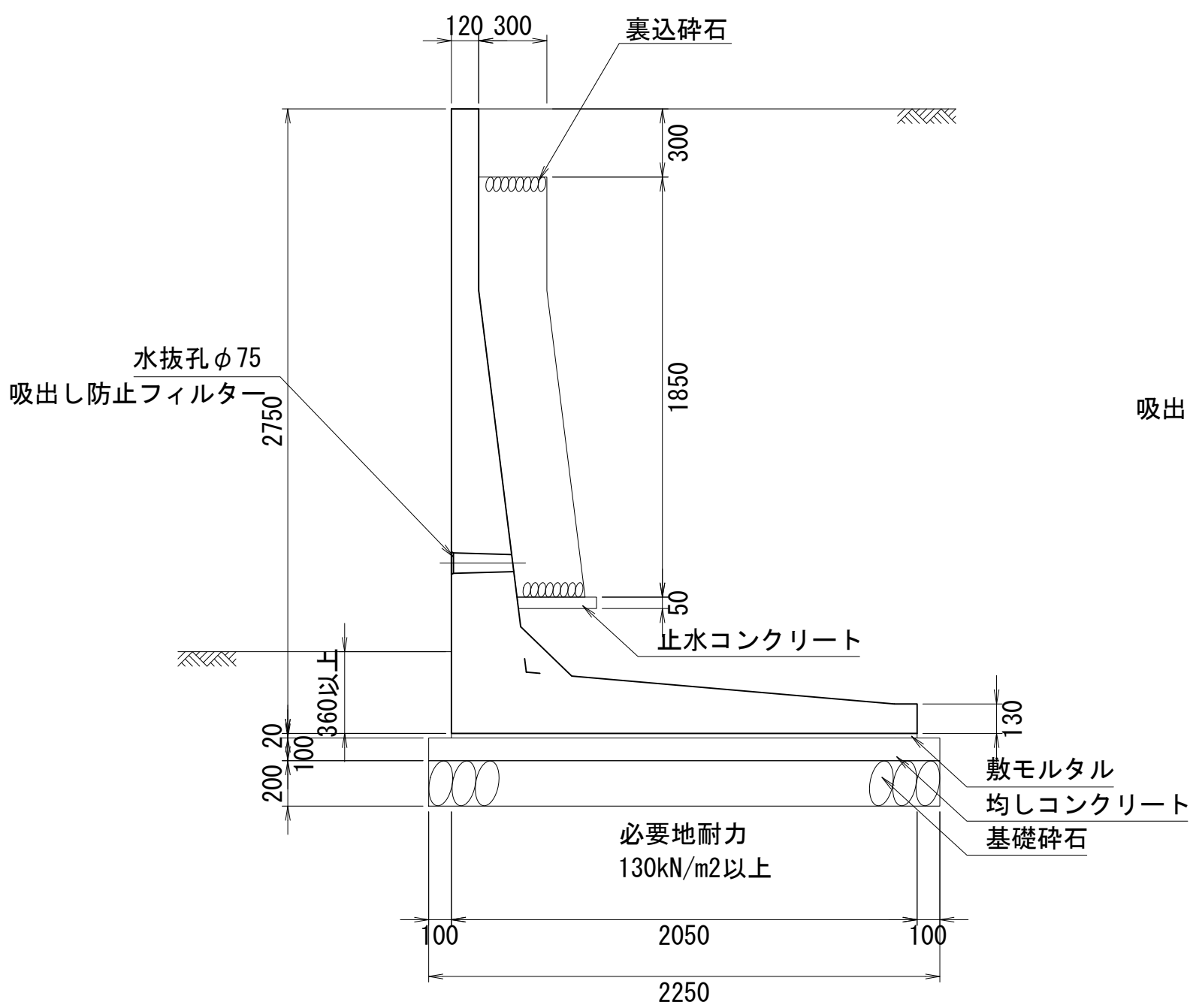
敷モルタル	1：3
均しコンクリート	18N/mm2
基礎碎石	RC40-0
裏込碎石	RC40-0 or C40-0

1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込碎石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m2に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

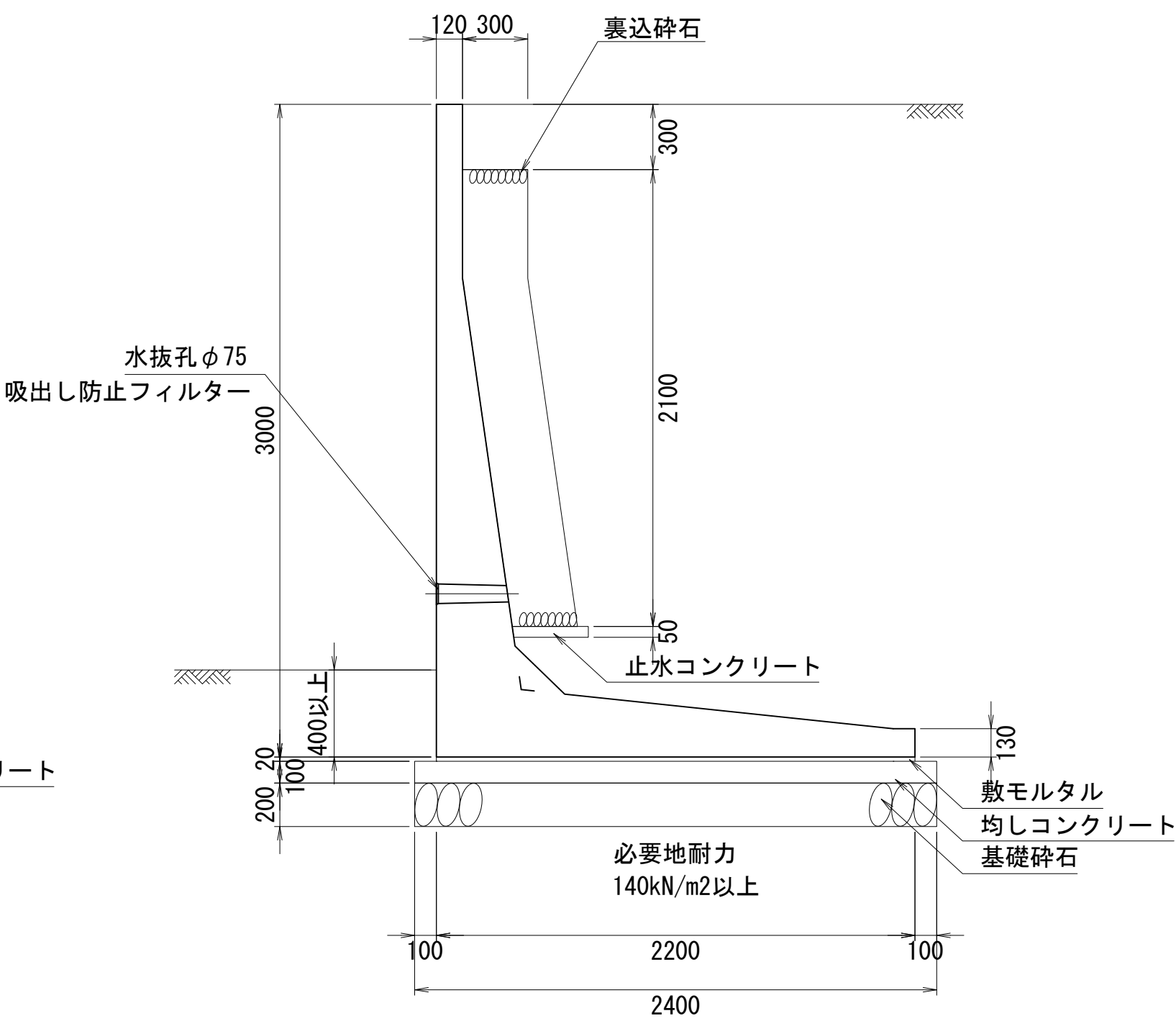
KLウォール3型E3

A1 S=1：25
A3 S=1：50

KLウォール3型E3
H=2750



KLウォール3型E3
H=3000



設計条件(土質試験により実状を確認しない場合)

上 載 荷 重	Q=15.0kN/m2
背面土の土質	砂利または砂
土の内部摩擦角	30° (φ ≧ 28.8°)
土の単位体積重量	γ s=18.0kN/m3
基礎地盤の土質	岩、岩屑、砂利、砂
底面摩擦係数	μ =0.5
コンクリートの単位体積重量	γ c=24.0kN/m3
コンクリートの設計基準強度	σ ck=30N/mm2
使用鉄筋	SD295
設計水平震度 (中規模地震時)	0.20
設計水平震度 (大規模地震時)	0.25
擁壁前面の根入れ高さ	35cm以上かつ 擁壁高さの15%以上

※宅地造成等規制法施行令 別表第二・三参照

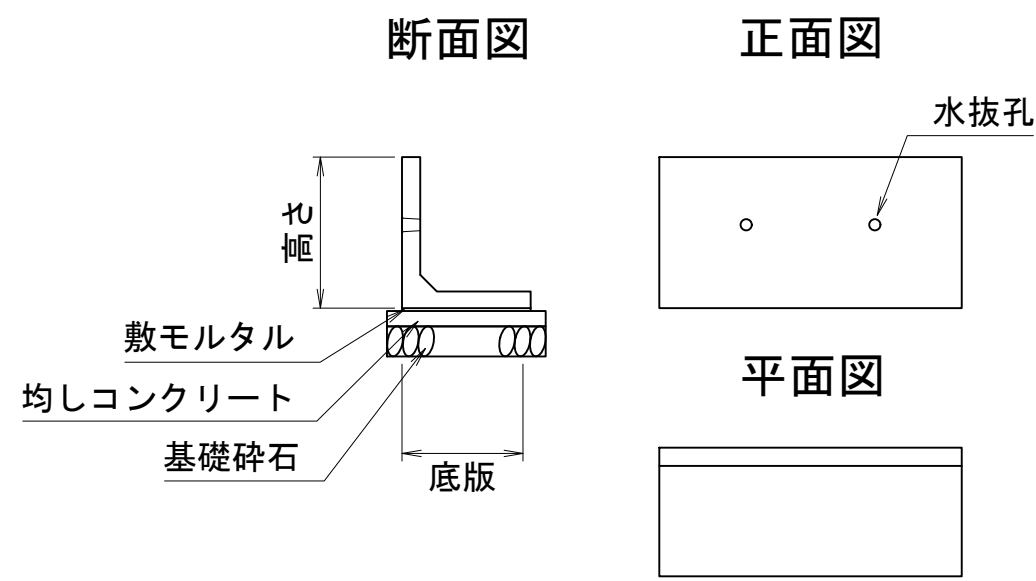
使用材料

敷モルタル	1：3
均しコンクリート	18N/mm2
基礎碎石	RC40-0
裏込碎石	RC40-0 or C40-0

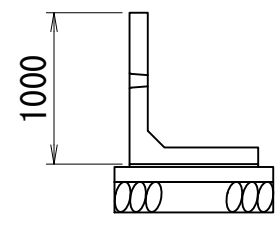
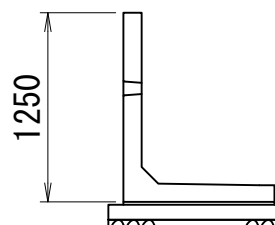
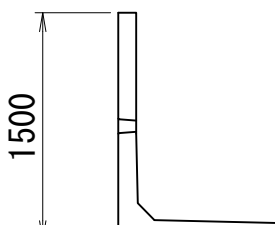
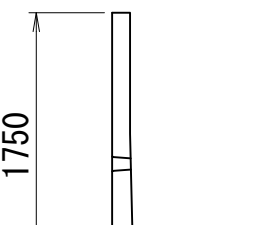
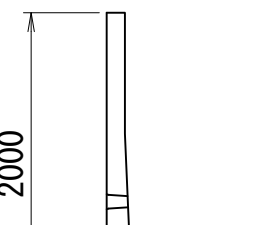
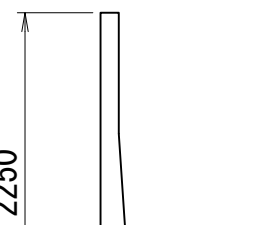
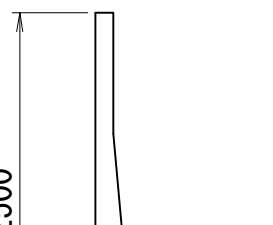
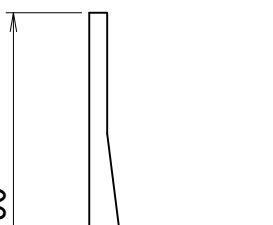
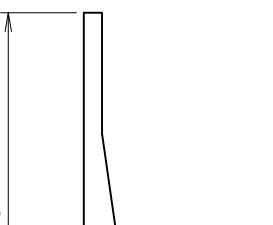
1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込碎石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m2に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

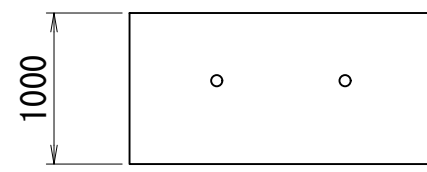
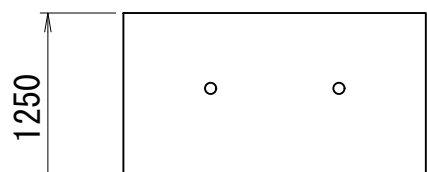
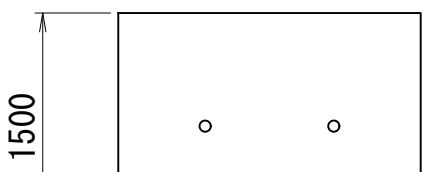
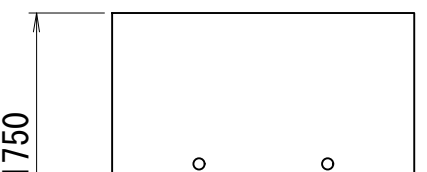
KLウォール3型E3テンプレート

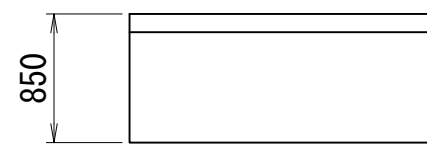
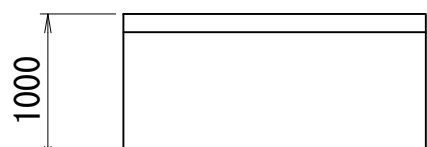
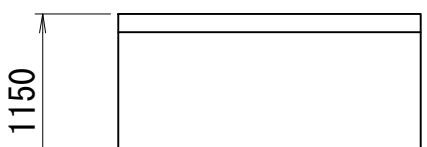
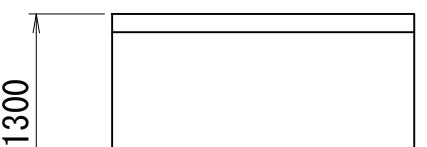
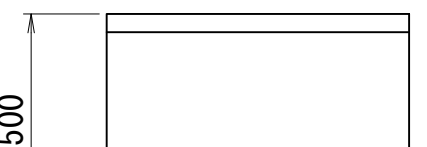
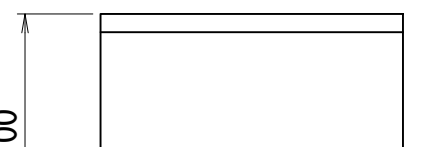
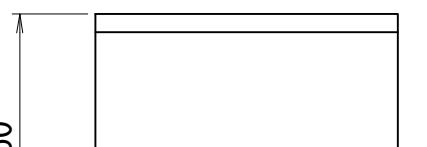
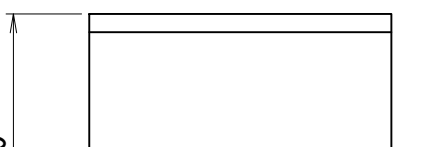
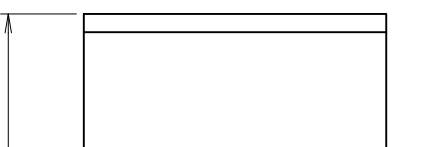
A1 S=1： 50
A3 S=1：100



擁壁前面の根入れ高さ	35 c m以上かつ 擁壁高さの15%以上
------------	--------------------------

KLウォール3型E3 H=1000	KLウォール3型E3 H=1250	KLウォール3型E3 H=1500	KLウォール3型E3 H=1750	KLウォール3型E3 H=2000	KLウォール3型E3 H=2250	KLウォール3型E3 H=2500	KLウォール3型E3 H=2750	KLウォール3型E3 H=3000
								

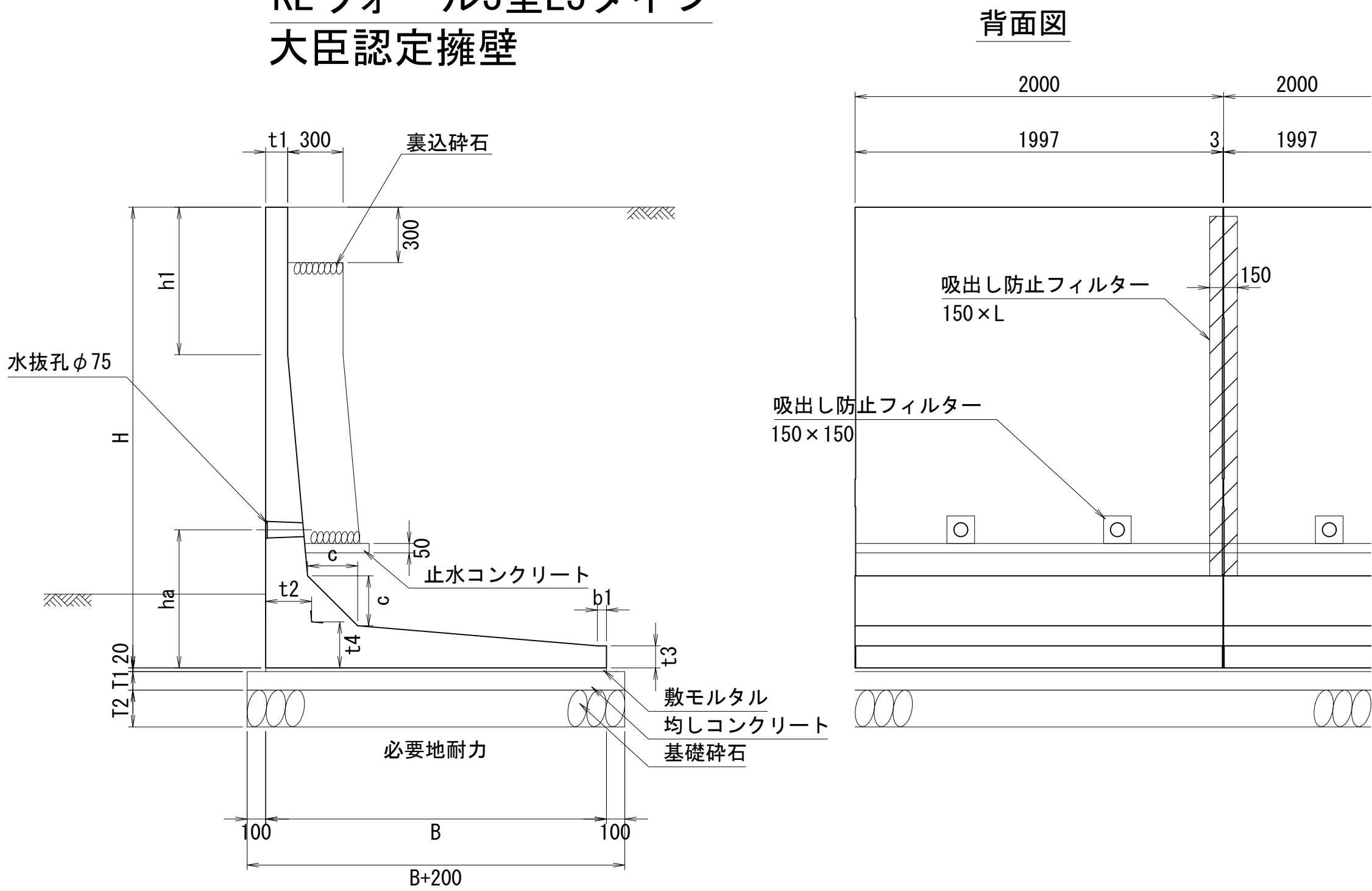
KLウォール3型E3 H=1000	KLウォール3型E3 H=1250	KLウォール3型E3 H=1500	KLウォール3型E3 H=1750	KLウォール3型E3 H=2000	KLウォール3型E3 H=2250	KLウォール3型E3 H=2500	KLウォール3型E3 H=2750	KLウォール3型E3 H=3000
								

KLウォール3型E3 H=1000	KLウォール3型E3 H=1250	KLウォール3型E3 H=1500	KLウォール3型E3 H=1750	KLウォール3型E3 H=2000	KLウォール3型E3 H=2250	KLウォール3型E3 H=2500	KLウォール3型E3 H=2750	KLウォール3型E3 H=3000
								

プレキャストL型擁壁構造図

A1 S=1:25
A3 S=1:50

KLウォール3型E3タイプ
大臣認定擁壁



E3タイプ 寸法表

適用	各部寸法 (mm)										寸法 (mm)		参考重量 (kg)	必要地耐力 (kN/m2)
	H	B	t1	t2	t3	t4	c	h1	b1	ha	T1	T2		
	1000	850	120	120	110	110	110	0	0	550	100	200	990	70
	1250	1000	120	120	110	120	110	0	100	750	100	200	1230	85
	1500	1150	120	130	110	130	110	800	100	750	100	200	1490	100
	1750	1300	120	140	110	140	110	800	50	750	100	200	1780	110
	2000	1500	120	165	110	165	150	800	50	750	100	200	2220	120
	2250	1700	120	205	120	205	200	800	50	750	100	200	2880	130
	2500	1850	120	250	120	250	250	800	50	750	100	200	3600	140
	2750	2050	120	330	130	270	200	800	100	750	100	200	4410	145
	3000	2200	120	390	130	310	200	800	100	750	100	200	5310	160

- 標準部の擁壁長さはL=1997mmとし、L=1000mmまで縮小（短尺）することができる。
- 据付時の伸びは3mm見込む。
- セツバック距離は、たて壁のたわみ量（計算上最大7mm程度）を考慮すること。

設計条件 (土質試験により実状を確認する場合)

上載荷重	Q=15.0kN/m2
土の内部摩擦角	$\phi \geq 25^{\circ}$
土の単位体積重量	$\gamma s=17.0\text{kN/m}^3$
底面摩擦係数	$\mu =0.466$ ($\mu =\tan \phi : \phi =25^{\circ}$)
コンクリートの単位体積重量	$\gamma c=24.0\text{kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma ck=30\text{N/mm}^2$
使用鉄筋	SD295
設計水平震度（中規模地震時）	0.20
設計水平震度（大規模地震時）	0.25
擁壁前面の根入れ高さ	45cm以上かつ 擁壁高さの20%以上

使用材料

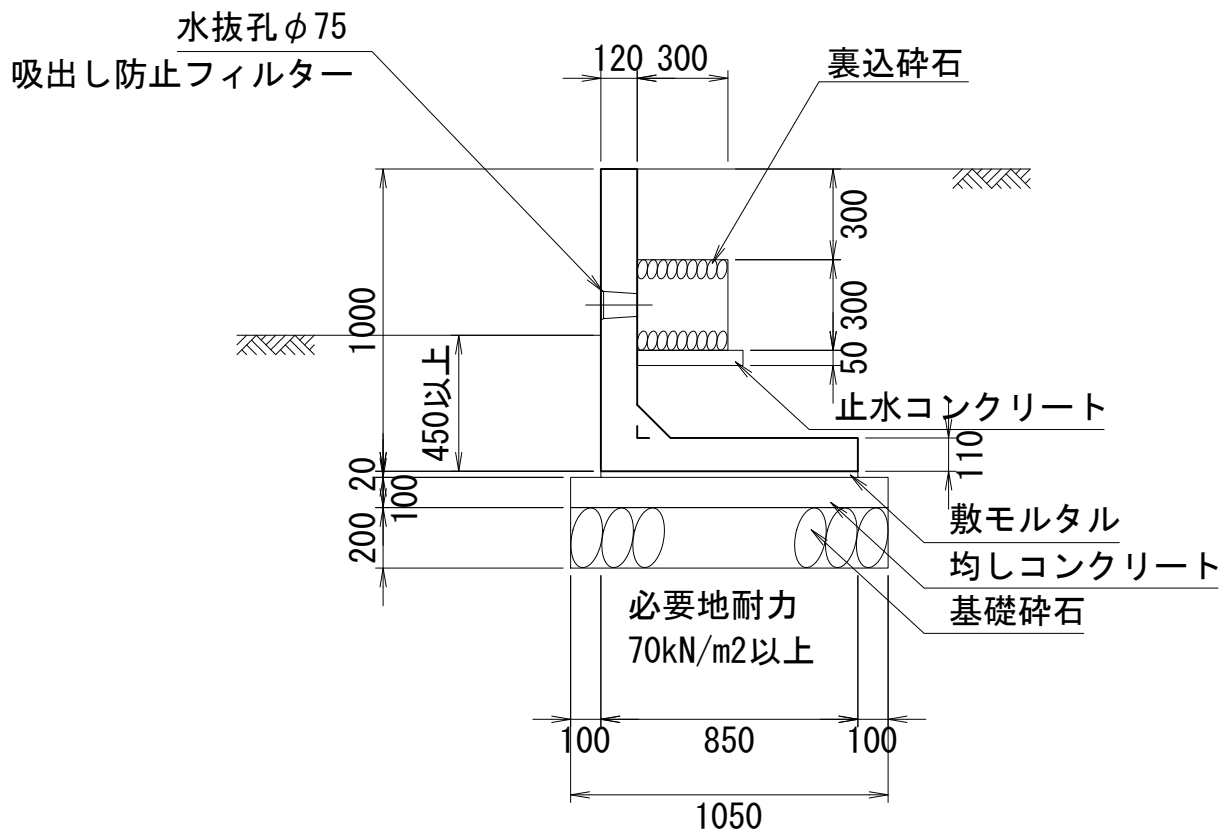
敷モルタル	1：3
均しコンクリート	18N/mm2
基礎碎石	RC40-0
裏込碎石	RC40-0 or C40-0

- 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
- 水抜孔及び裏込碎石の厚さ（300程度）がわかる状況写真を撮ること。
- 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
- 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m2に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

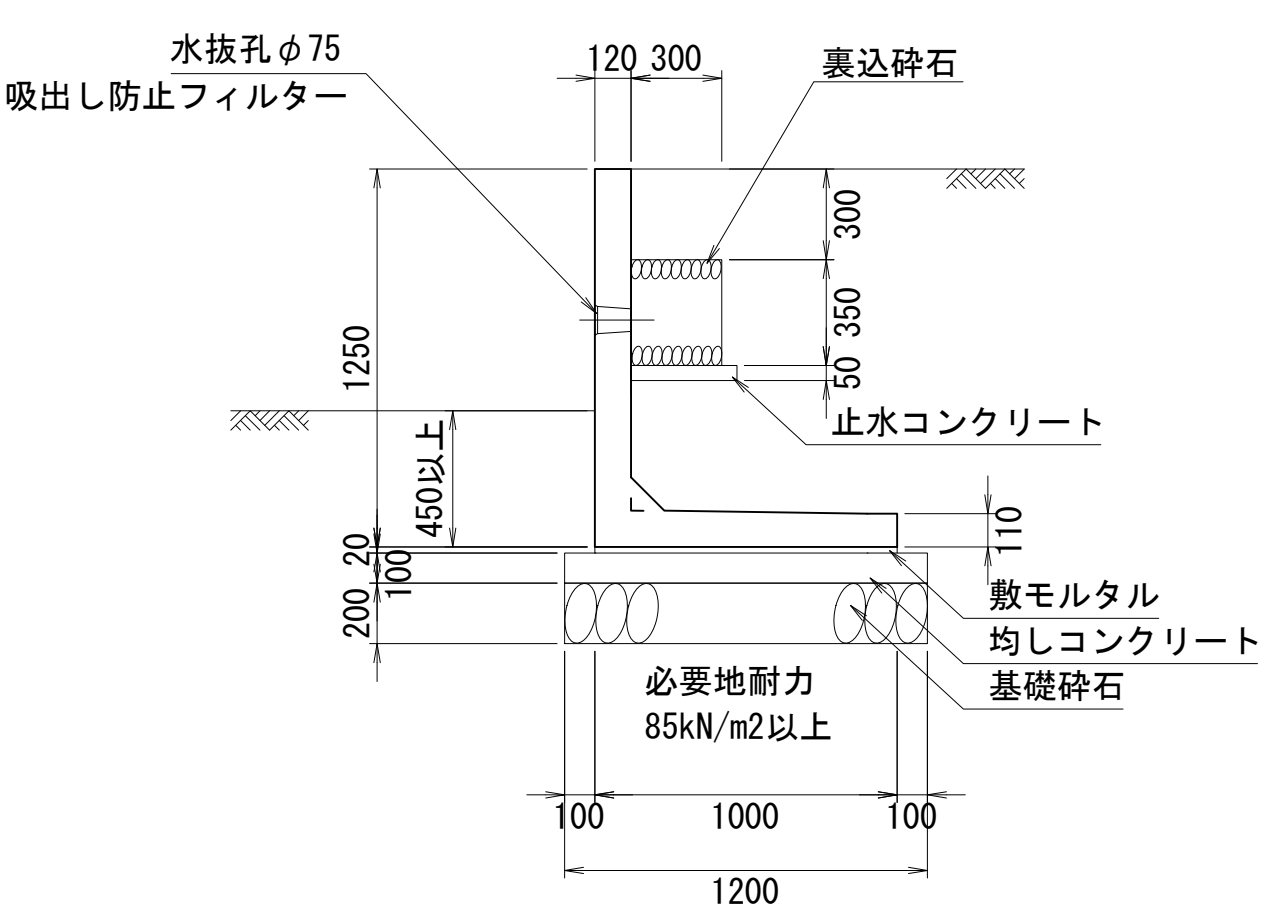
KLウォール3型E3

A1 S=1:25
A3 S=1:50

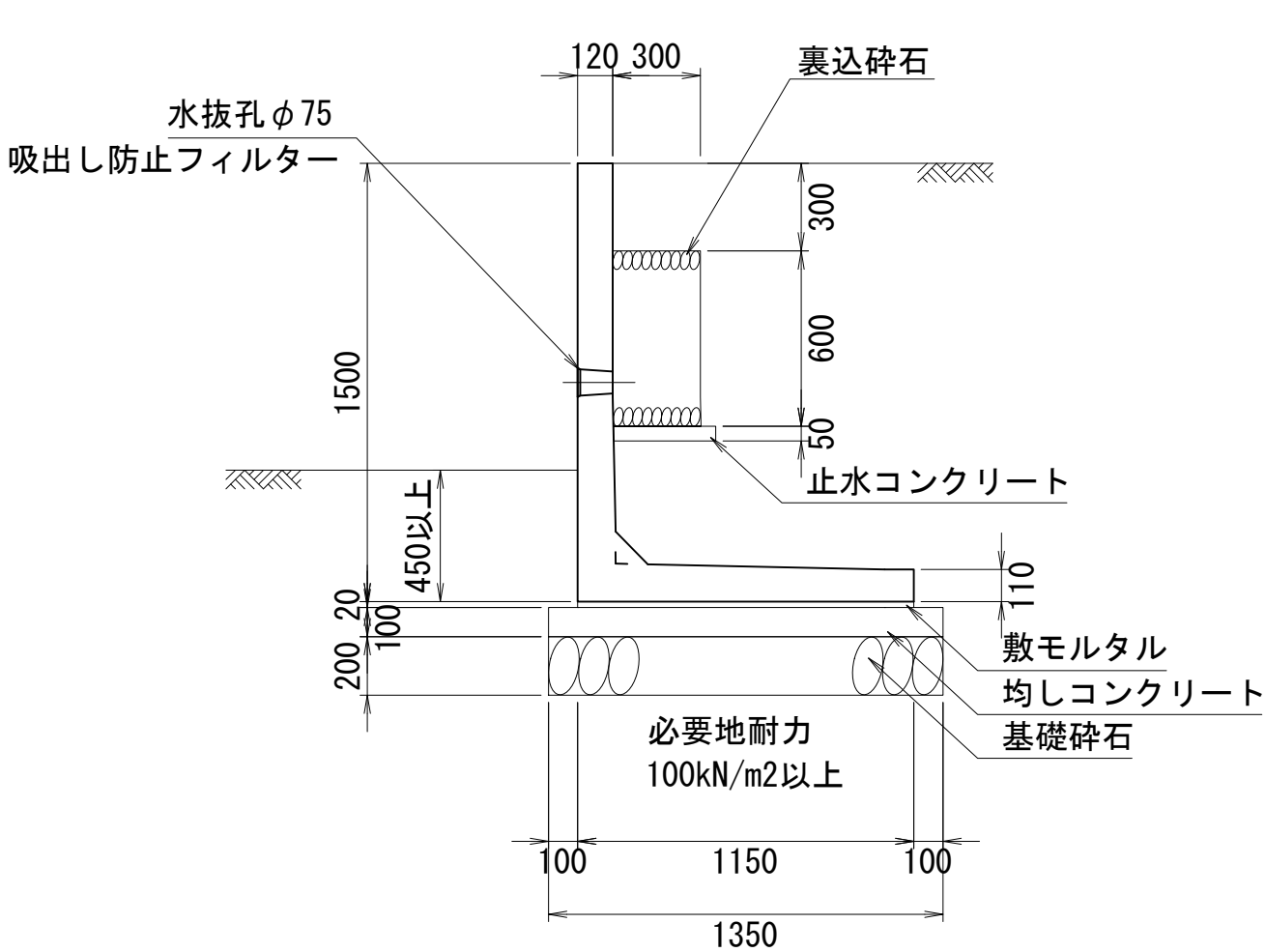
KLウォール3型E3
H=1000



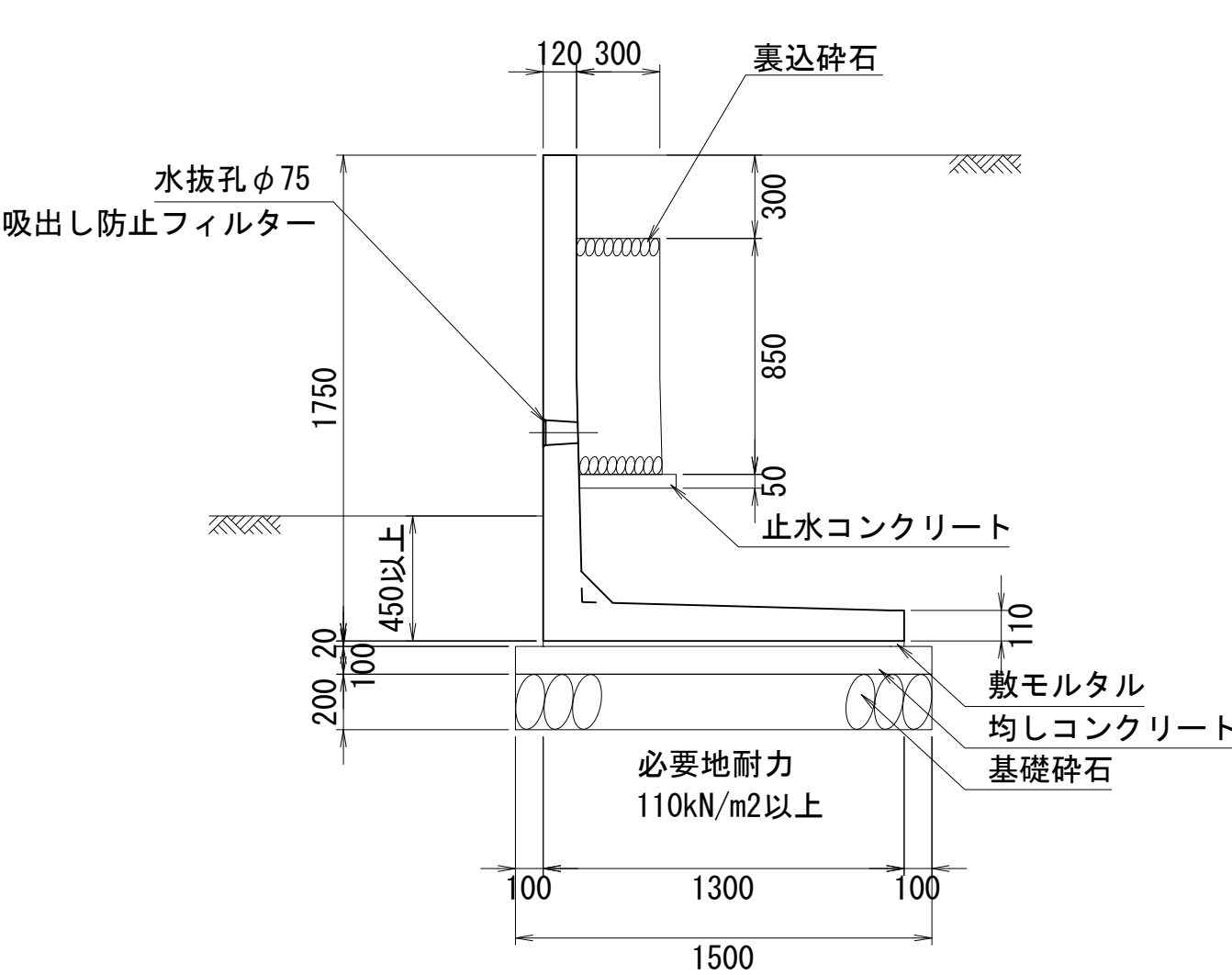
KLウォール3型E3
H=1250



KLウォール3型E3
H=1500



KLウォール3型E3
H=1750



設計条件(土質試験により実状を確認する場合)

上 載 荷 重	Q=15.0kN/m2
土の内部摩擦角	$\phi \geq 25^{\circ}$
土の単位体積重量	$\gamma s=17.0\text{kN/m}^3$
底面摩擦係数	$\mu=0.466$ ($\mu=\tan \phi: \phi=25^{\circ}$)
コンクリートの単位体積重量	$\gamma c=24.0\text{kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma ck=30\text{N/mm}^2$
使用鉄筋	SD295
設計水平震度(中規模地震時)	0.20
設計水平震度(大規模地震時)	0.25
擁壁前面の根入れ高さ	45cm以上かつ 擁壁高さの20%以上

使用材料

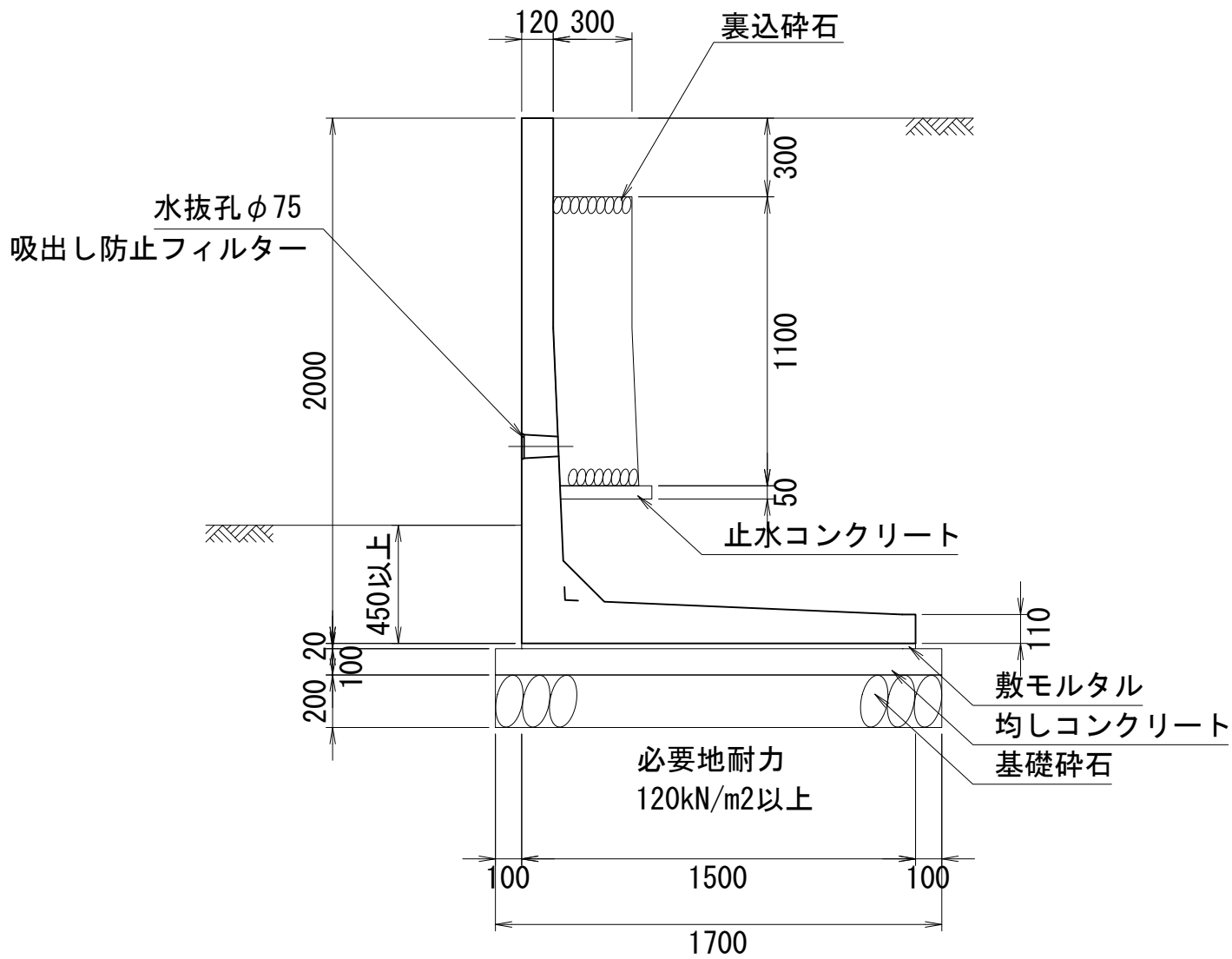
敷モルタル	1:3
均しコンクリート	18N/mm2
基礎碎石	RC40-0
裏込碎石	RC40-0 or C40-0

1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込碎石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m2に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

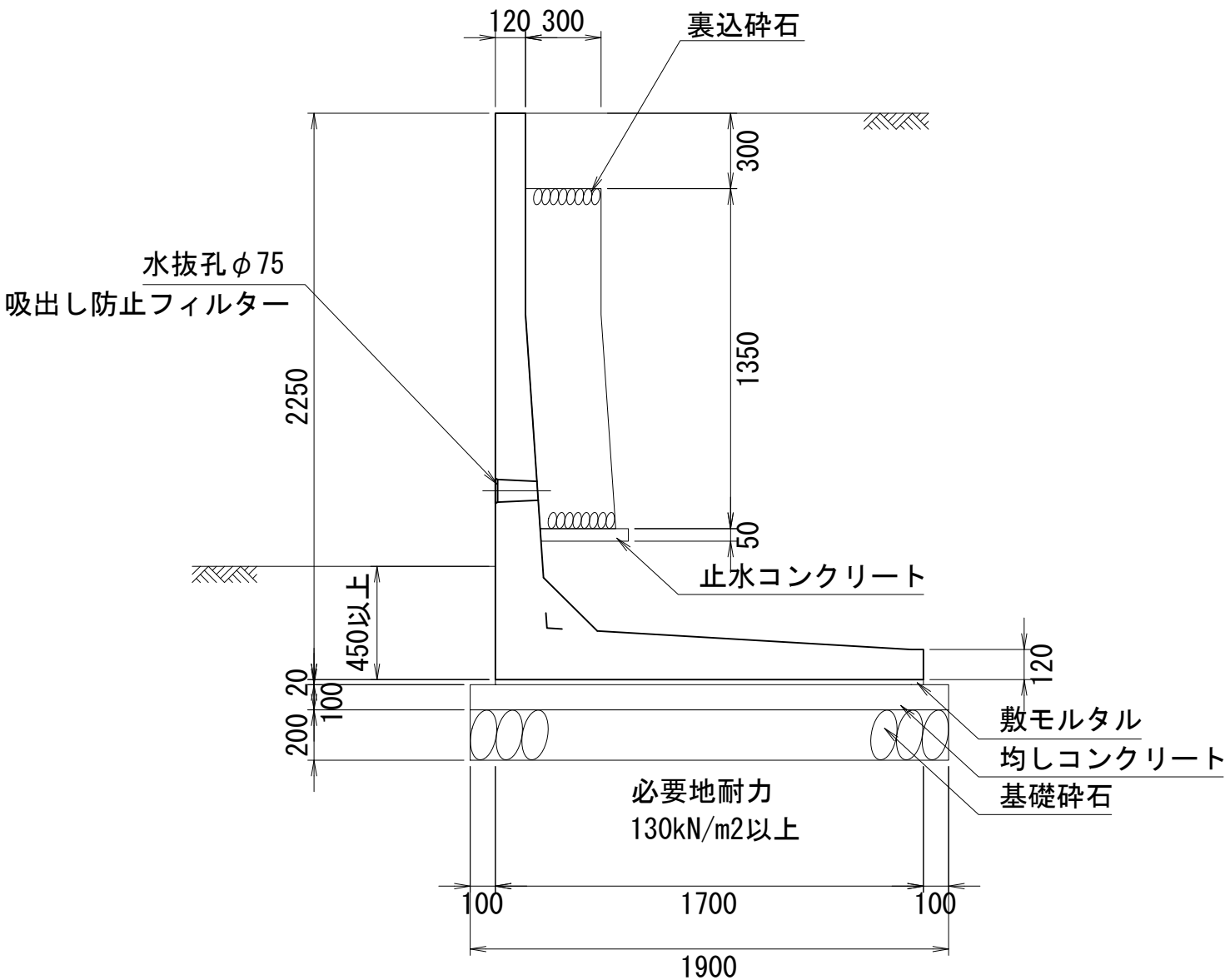
KLウォール3型E3

A1 S=1：25
A3 S=1：50

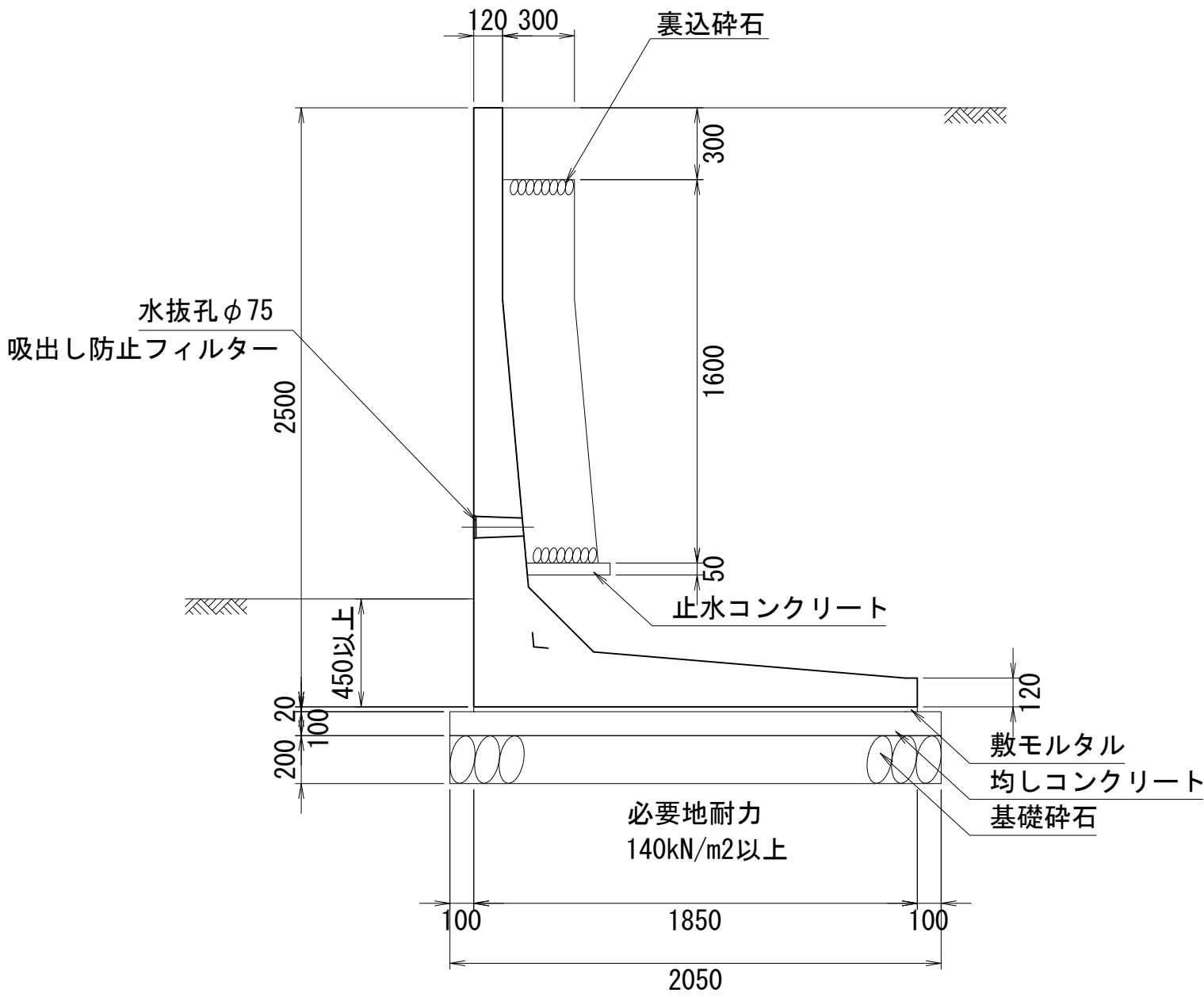
KLウォール3型E3
H=2000



KLウォール3型E3
H=2250



KLウォール3型E3
H=2500



設計条件(土質試験により実状を確認する場合)

上 載 荷 重	Q=15.0kN/m2
土の内部摩擦角	$\phi \geq 25^{\circ}$
土の単位体積重量	$\gamma s=17.0\text{kN/m}^3$
底面摩擦係数	$\mu =0.466$ ($\mu =\tan \phi : \phi =25^{\circ}$)
コンクリートの単位体積重量	$\gamma c=24.0\text{kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma ck=30\text{N/mm}^2$
使用鉄筋	SD295
設計水平震度（中規模地震時）	0.20
設計水平震度（大規模地震時）	0.25
擁壁前面の根入れ高さ	45cm以上かつ 擁壁高さの20%以上

使用材料

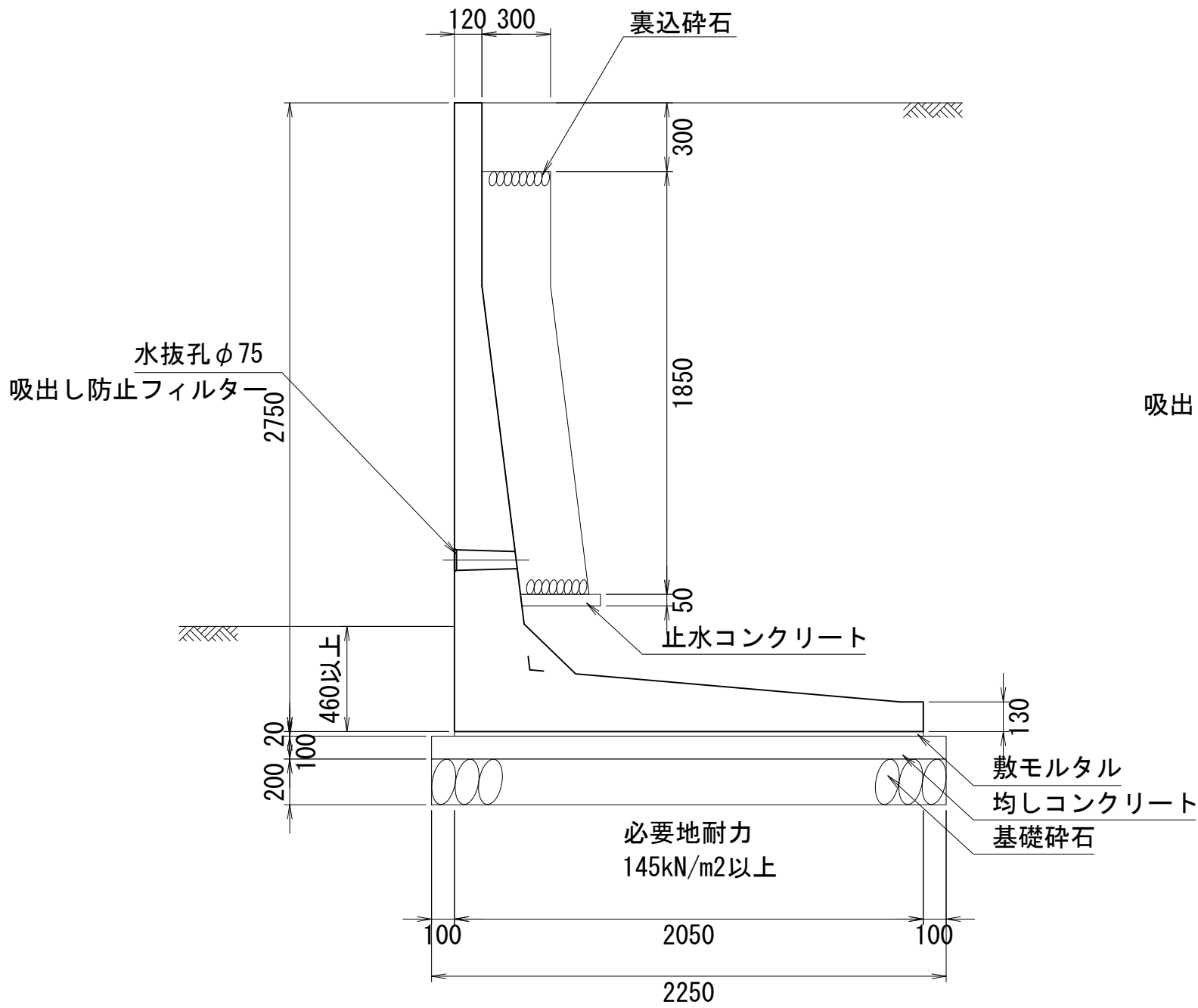
敷モルタル	1：3
均しコンクリート	18N/mm2
基礎碎石	RC40-0
裏込碎石	RC40-0 or C40-0

1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込碎石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m2に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

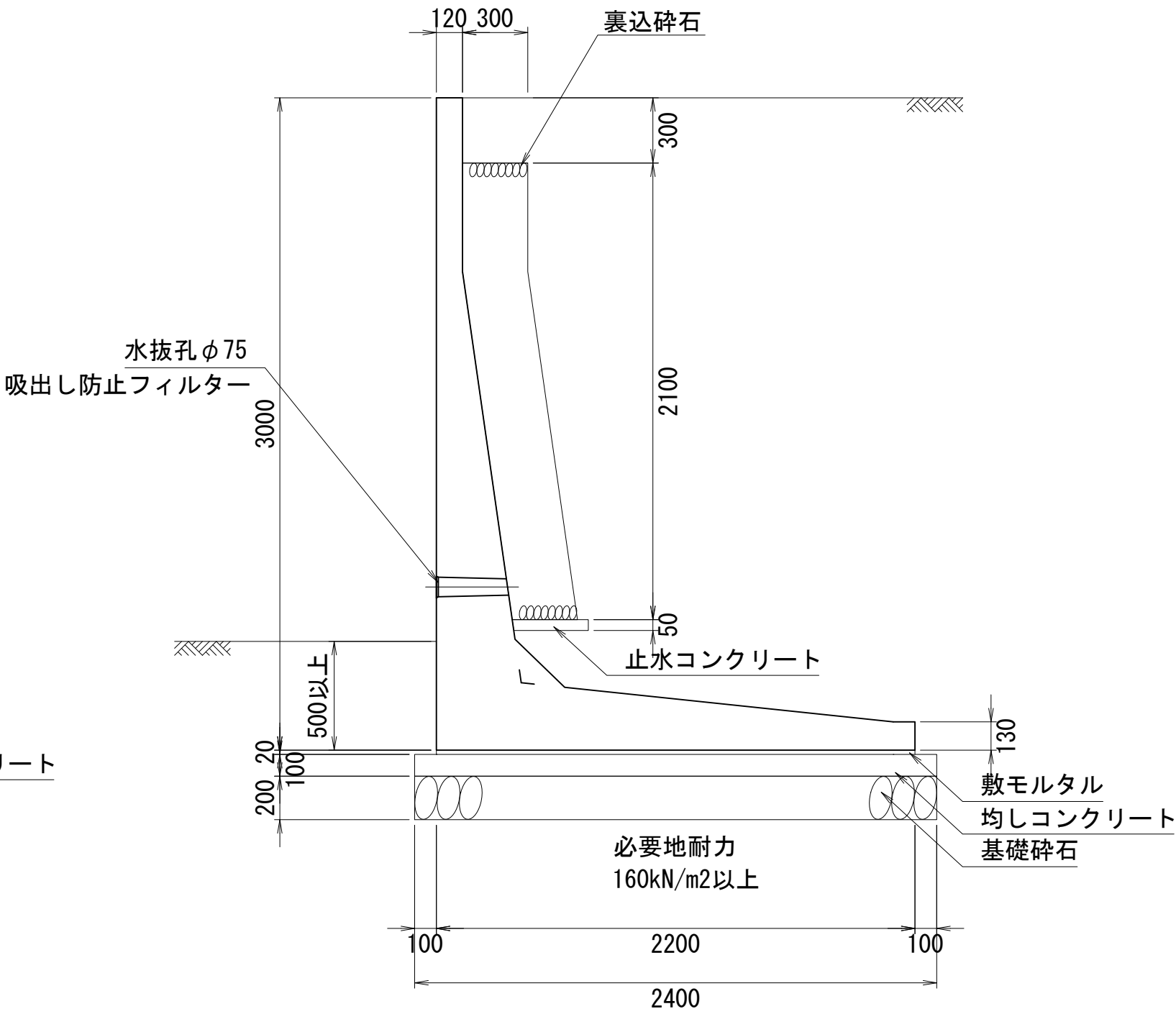
KLウォール3型E3

A1 S=1：25
A3 S=1：50

KLウォール3型E3
H=2750



KLウォール3型E3
H=3000



設計条件(土質試験により実状を確認する場合)

上 載 荷 重	Q=15.0kN/m2
土の内部摩擦角	$\phi \geq 25^{\circ}$
土の単位体積重量	$\gamma s=17.0\text{kN/m}^3$
底面摩擦係数	$\mu =0.466$ ($\mu =\tan \phi : \phi =25^{\circ}$)
コンクリートの単位体積重量	$\gamma c=24.0\text{kN/m}^3$
コンクリートの設計基準強度	$\sigma ck=30\text{N/mm}^2$
使用鉄筋	SD295
設計水平震度（中規模地震時）	0.20
設計水平震度（大規模地震時）	0.25
擁壁前面の根入れ高さ	45cm以上かつ 擁壁高さの20%以上

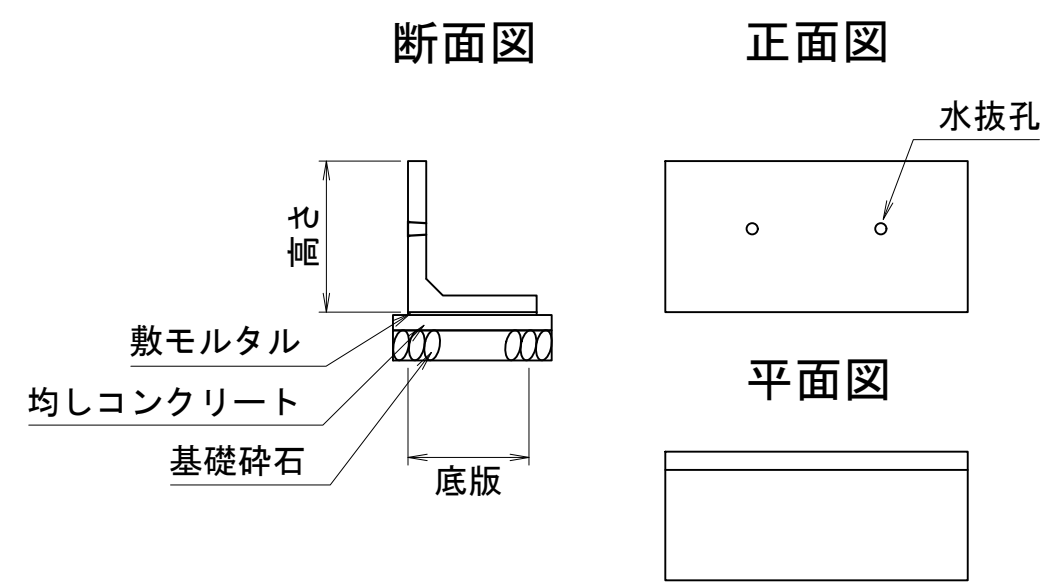
使用材料

敷モルタル	1：3
均しコンクリート	18N/mm2
基礎碎石	RC40-0
裏込碎石	RC40-0 or C40-0

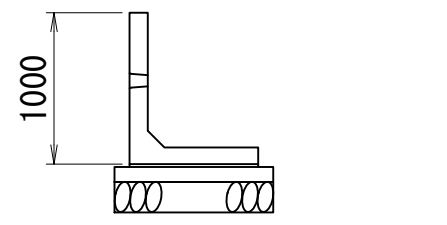
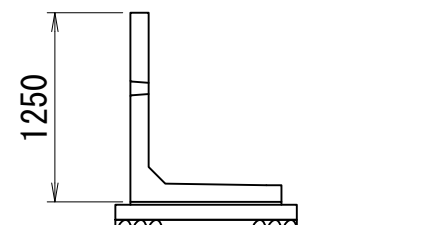
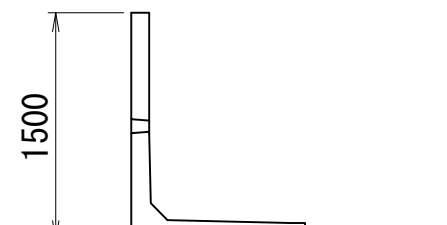
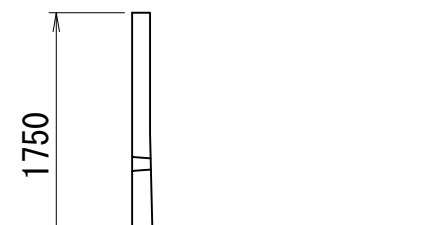
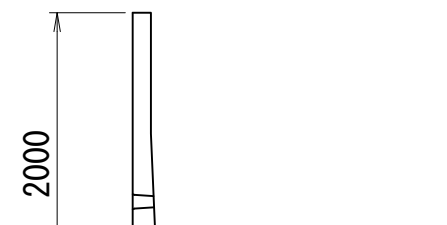
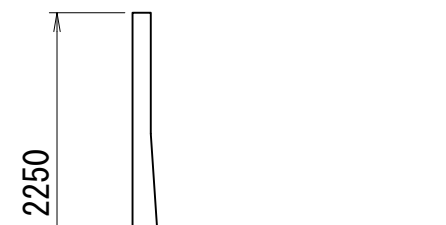
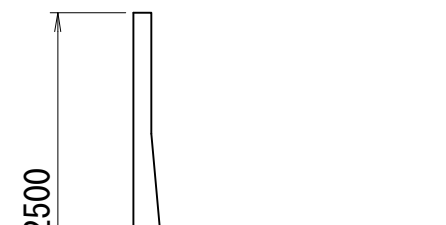
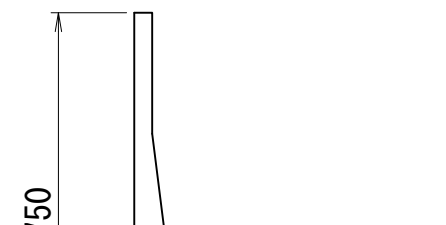
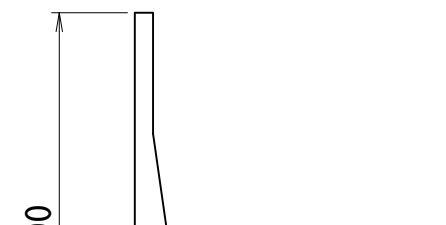
1. 支持地盤および裏込土については、許可申請前または施工段階において土質調査・原位置試験を実施し、設計照査を行うこと。
設計条件を満たさない地盤の場合は、安定処理や良質土による置き換えを行い設計条件を確保すること。
2. 水抜孔及び裏込碎石の厚さ(300程度)がわかる状況写真を撮ること。
3. 盛土をする場合には、おおむね30cm以下の厚さの層に分けて土を盛り、ローラーその他の建設機械を用いて締め固めること。
4. 水抜孔が根入れにより埋まる場合は、3m2に1箇所以上、水抜孔を別途設けること。

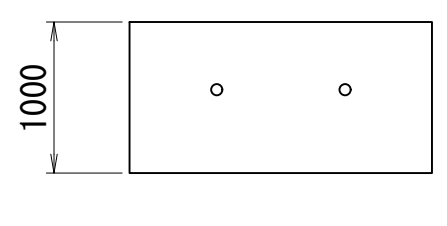
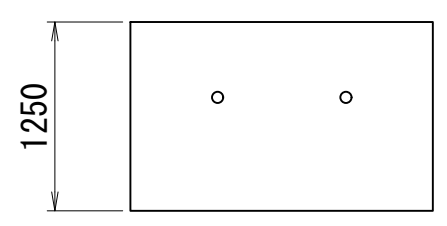
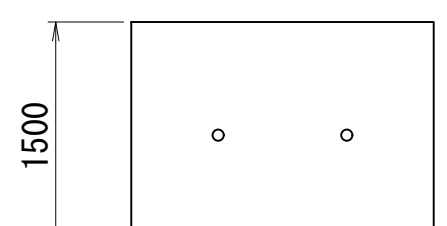
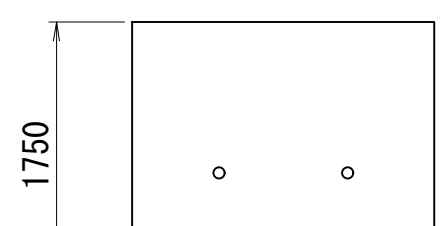
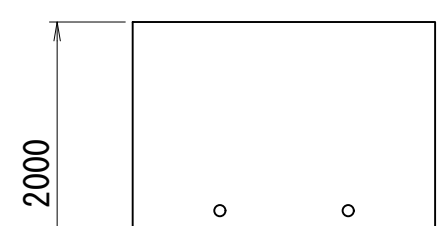
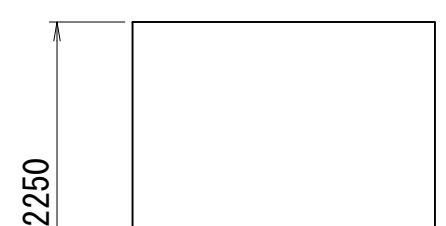
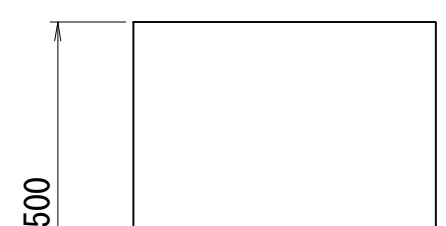
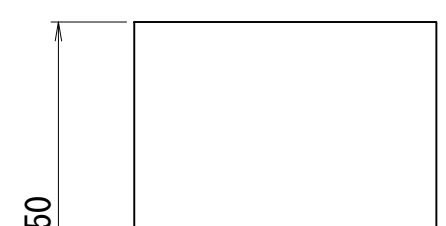
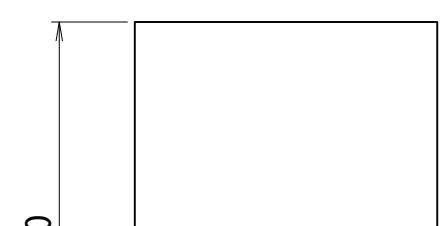
KLウォール3型E3テンプレート

A1 S=1: 50
A3 S=1:100



擁壁前面の根入れ高さ	45 c m以上かつ 擁壁高さの20%以上
------------	--------------------------

KLウォール3型E3 H=1000	KLウォール3型E3 H=1250	KLウォール3型E3 H=1500	KLウォール3型E3 H=1750	KLウォール3型E3 H=2000	KLウォール3型E3 H=2250	KLウォール3型E3 H=2500	KLウォール3型E3 H=2750	KLウォール3型E3 H=3000
								

KLウォール3型E3 H=1000	KLウォール3型E3 H=1250	KLウォール3型E3 H=1500	KLウォール3型E3 H=1750	KLウォール3型E3 H=2000	KLウォール3型E3 H=2250	KLウォール3型E3 H=2500	KLウォール3型E3 H=2750	KLウォール3型E3 H=3000
								

KLウォール3型E3 H=1000	KLウォール3型E3 H=1250	KLウォール3型E3 H=1500	KLウォール3型E3 H=1750	KLウォール3型E3 H=2000	KLウォール3型E3 H=2250	KLウォール3型E3 H=2500	KLウォール3型E3 H=2750	KLウォール3型E3 H=3000
